

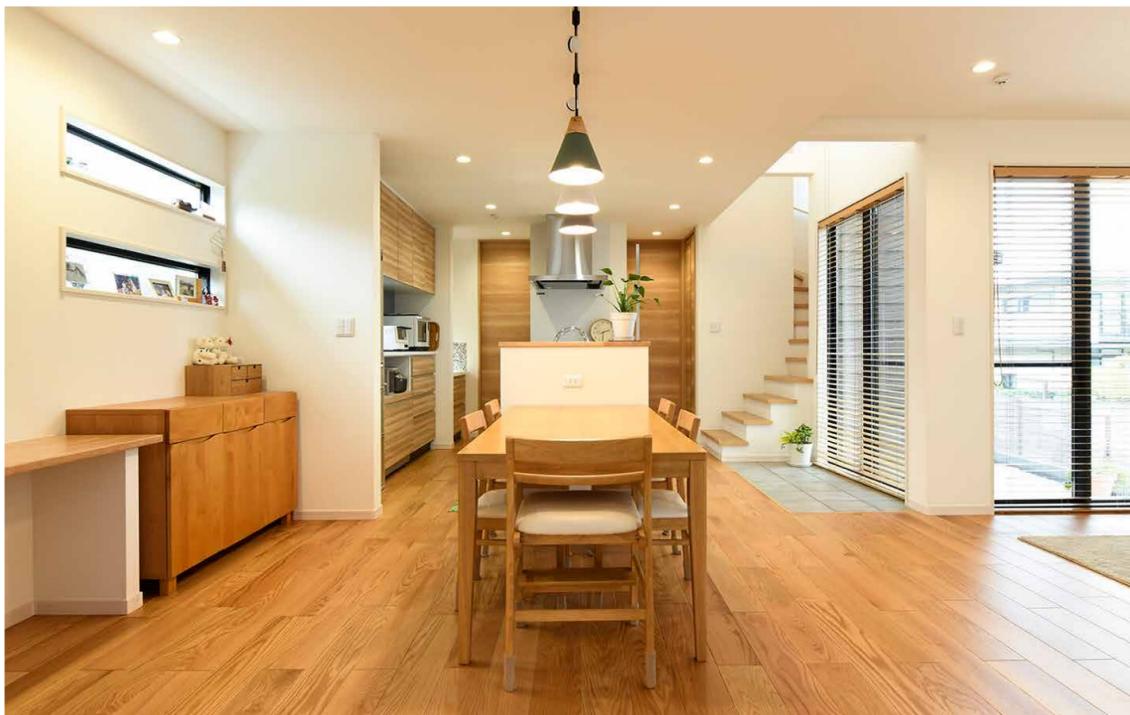
## [CASE 02]

## 家族の声が聞こえる家

〈家族構成〉夫44歳、妻36歳、長男8歳、長女5歳、次女2歳 〈入居年月〉2019年5月

購入を決めたとき、どんな家になりたいと考えていたかを尋ねると弊社社員G.Yの奥さんから「家族の声が聞こえる家、です」という答えが返ってきました。以前、弊社の社員でもあった奥さんが、自宅を建てるにあたって自ら設計を担当したお気に入りの我が家です。

「子供が3人いますので、家にいるときに子供たちの様子がよくわかるようにしたかったんです。キッチンを中心にリビング、ダイニングを見渡せるようにし、子供部屋にはドアをつけずカーテンにして、吹き抜けにすることで2階にいても声が聞こえるようにしました」



### 家族が生活しやすい 「動線」を考えつくして設計

キッチンと横並びのダイニングにした理由は「生活動線を考えつくした結果なのです。食事の準備からダイニングへの配膳、そして後片付けが一直線の横移動だけで完結できるので、とっても効率的です。玄関を入ってすぐの位置にトイレと洗面台を設置したのは、外出先から帰ったとき、トイレから出た時にもすぐに手を洗えるし、朝も食事をしたらすぐに歯を磨けるように考えたからなのです」

「好きな空間にすることにこだわって作った」という家は、機能的、効率的でありながら、洗練された空間に仕上がっています。

### キッチンに立ちながら子供たちの様子も見守れる

「共稼ぎなので、私は在宅時間のほとんどをキッチンで過ごすことになるのです。なので、食事の用意をしながら、子供たちとコミュニケーションを取れるようにしたくて。キッチンからダイニングもリビングも見まわせると、こんなにも安心できるんだと。自分で設計しておいて感激しちゃいました」

ダイニングの横にある2畳ほどの畳スペースに家族を見守るように配置された檜の大黒柱が印象的です。

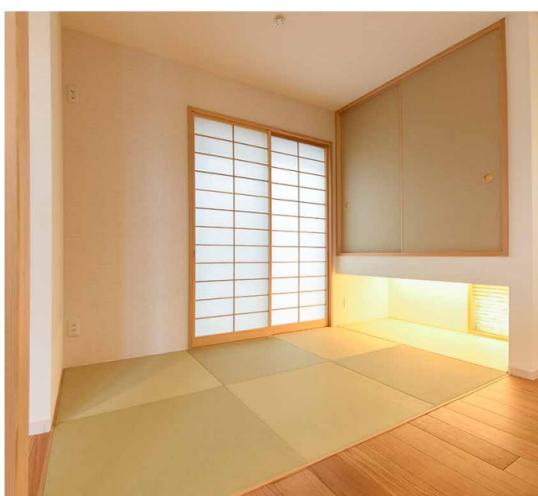
「大黒柱はあった方がいい、という大工さんからのオススメもあって作りました。実は、構造的にもここに柱が必要、というのもあったんです。家の象徴と構造上の役割、2つの意味を持つ大黒柱です」

畳スペースは“大黒柱本人”が酔って深夜に帰宅したときに「寝るスペース」として用意した「夫婦円満コーナー」なのだそう。

「実際にはまだ、主人は使ったことがなくて。子供のお昼寝に使うことが多いですね」



子供たちを見守れるキッチンスペース



夫婦円満の畳スペース



家族を見守る檜の大黒柱

### 2階の南向きのスペースは露天風呂気分が味わえる浴室に

「主人が温泉好きなので、露天風呂気分が味わえるようにと思って。南に浴室を作りました。家の中で一番、日が当たる場所なのでお風呂にするよりも、部屋にしたほうが良いという考え方もありますが、そこは主人の夢の実現を優先しました」

この「何を優先するか」が家づくりのもっとも悩ましいことだとG夫妻は口を揃える。

「例えば、私たち家族のライフスタイルから『朝日が差し込む家がいい』と



露天風呂気分を味わえる浴室

というのが理想としてあったのです。すると、東に向けた地形でないと実現できないので、選択肢が限られてしまう。でも、どうしても譲れないのであれば、そうした条件をかなえる物件と巡り合うまで、妥協しないことも大事ですね」

仕事柄、家づくりを熟知している夫婦でも「自分の家を建てるというのは大仕事だった」という。

「土地や建物だけでなく、コンロ、水栓、壁紙と、とにかく選んで決めていくことが山ほどあります。決めることの項目も多いし、ひとつひとつの選択肢も多い。決断が後々の生活に関わることです。そうしたことにも親身に寄り添ってくれるハウスメーカーを選ぶことがどれほど大切かを、実感しました。家づくりは『決断』と『覚悟』の連続でした」と社員Gは振り返ります。



### 家族の楽しみが増え暮らしが豊かに

約半年、新居で暮らした今の心境を尋ねると「子供たちがこうして嬉しそうに家の中で走り回っているのを見ると、家を建ててホントによかったなあと思います」とG夫妻は口を揃えました。

じつは取材中も「お部屋に二段ベッドがあるの。早く見に来て」と子供たちに幾度となく、声をかけてもらっていました。誘われるまま、2階にあがると、広々とした1部屋に出入口が3つある子供部屋に案内してくれました。

「子供たちが大きくなったら、壁を作るなどして仕切る予定です。小さいうちは子供たちみんなで、この空間を楽しんでもらいたいな、と思っています。子供たちはいずれ巣立つでしょうが、私と主人は死ぬまでここで暮らすこととなります。だから、子供はもちろん、私たち夫婦がずっと家に愛着が持てて、楽しみが増えていくことを第一に考えることがいちばん大事なのかな、と思うようになりました」

家を建ててから「家で過ごす時間が楽しくなり、暮らしが豊かになりましたね」と社員Gも顔をほころばせていました。

